

# 業績の概要

## ■ 単体決算

### 主要な単体経営指標の推移

| 回 次                          | 単位          | 第99期                | 第100期               | 第101期               | 第102期               | 第103期                                                  |
|------------------------------|-------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|--------------------------------------------------------|
| 決算年月                         |             | 平成16年3月             | 平成17年3月             | 平成18年3月             | 平成19年3月             | 平成20年3月                                                |
| 経常収益                         | 百万円         | 41,957              | 40,112              | 40,082              | 37,797              | 39,927                                                 |
| 経常利益<br>( は経常損失)             | 百万円         | 4,458               | 3,661               | 6,079               | 23,350              | 576                                                    |
| 当期純利益<br>( は当期純損失)           | 百万円         | 3,503               | 2,481               | 2,453               | 28,153              | 424                                                    |
| 資本金<br>(発行済み株式総数)            | 百万円<br>(千株) | 35,565<br>(241,597) | 35,565<br>(241,597) | 35,565<br>(241,597) | 35,565<br>(241,597) | 39,565<br>(247,132)<br>普通株式(247,132)<br>第一種優先株式(1,500) |
| 純資産額                         | 百万円         | 58,374              | 63,805              | 63,581              | 32,703              | 30,562                                                 |
| 総資産額                         | 百万円         | 1,734,132           | 1,785,950           | 1,783,069           | 1,741,013           | 1,710,444                                              |
| 預金残高                         | 百万円         | 1,639,942           | 1,675,266           | 1,669,557           | 1,660,366           | 1,610,368                                              |
| 貸出金残高                        | 百万円         | 1,174,866           | 1,174,979           | 1,193,655           | 1,192,632           | 1,164,442                                              |
| 有価証券残高                       | 百万円         | 391,582             | 434,154             | 470,273             | 450,167             | 459,444                                                |
| 1株当たり純資産額                    | 円           | 241.77              | 264.31              | 263.44              | 135.53              | 94.06                                                  |
| 1株当たり配当額<br>(内1株当たり中間配当額)    | 円<br>(円)    | 3.00<br>(-)         | 3.00<br>(-)         | 3.00<br>(-)         | -<br>(-)            | -<br>(-)                                               |
| 1株当たり当期純利益<br>( は1株当たり当期純損失) | 円           | 14.51               | 10.27               | 10.16               | 116.66              | 1.74                                                   |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益            | 円           | -                   | -                   | -                   | -                   | -                                                      |
| 単体自己資本比率<br>(国内基準)           | %           | 6.50                | 8.46                | 8.39                | 5.62                | 5.70                                                   |
| 株価収益率                        | 倍           | 17.22               | 26.75               | 31.47               | -                   | -                                                      |
| 配当性向                         | %           | 20.67               | 29.18               | 29.50               | -                   | -                                                      |
| 従業員数<br>[外、平均臨時従業員数]         | 人<br>[人]    | 1,469<br>[563]      | 1,375<br>[604]      | 1,328<br>[617]      | 1,343<br>[632]      | 1,363<br>[620]                                         |

(注) 1. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。  
2. 純資産額及び総資産額の算定にあたり、平成19年3月から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。  
3. 「1株当たり純資産額」「1株当たり当期純利益(又は当期純損失)」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益(以下、「1株当たり情報」という。)の算定に当たっては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。1株当たり純資産額は、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)が改正されたことに伴い、平成19年3月から繰延ヘッジ損益を含めて算出してあります。  
4. 単体自己資本比率は、平成19年3月から、銀行法第14条の2の規定に基づく平成18年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出してあります。当行は、国内基準を採用しております。なお、平成18年3月以前は、銀行法第14条の2の規定に基づく平成5年大蔵省告示第55号に定められた算式に基づき算出してあります。  
5. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、平成20年3月は潜在株式はありますが当期純損失を計上しているのに記載しておりません。また、平成19年3月以前は潜在株式がないので記載しておりません。

### 経済金融環境

平成19年度のがわが国経済は、原油価格や穀物価格など原材料価格の高騰や、住宅投資の落ち込みなどから一部に弱さがみられたものの、企業収益の改善に伴う設備投資の増加や雇用情勢にも改善がみられるなど、緩やかな回復基調で推移しま

した。しかしながら、米国のサブプライムローン問題に端を発する金融市場の混乱は、収束する気配がなく、原材料の価格の上昇とあわせ、企業業績に与える影響は予断を許さない状況にあります。

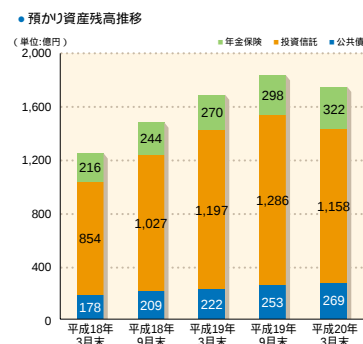
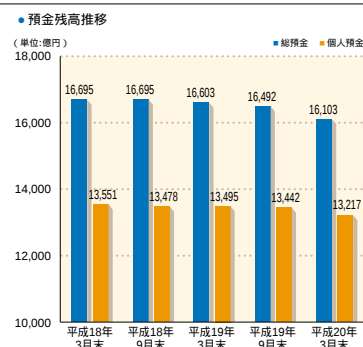
### 用語の解説

- 「経常収益」とは、一般企業でいう売上高になります。
- 「経常利益」とは、経営の成績を全般的に示すものです。
- 「総資産額」とは、銀行が取り扱っている財産の総額です。
- 「預金残高」とは、銀行が、お客さまからお預りしている預金額です。
- 「貸出金残高」とは、銀行のご融資額です。
- 「1株当たり純資産額」とは、株式1株当たりの株主持分です。投資の判断には重要な指標です。
- 「1株当たり当期純利益」とは、1株当たりの一期間の純利益です。
- 「配当性向」とは、一期間の利益のうち、配当金の割合です。
- 「自己資本比率」とは、銀行の信用リスク・アセットの額に対する自己資本の額の比率です。

## 預金

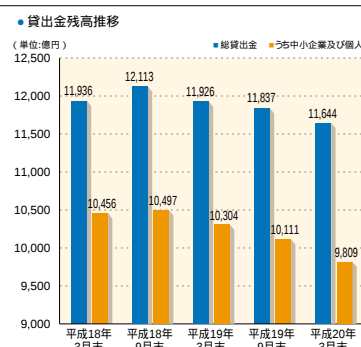
個人・法人ともに安定した預金の吸収に努めましたが、資産運用の多様化や業務改善命令の影響もあり、前年度末比で個人預金が277億円、法人預金が213億円の減少となったことから、期末残高は前年度末比499億円減少の1兆6,103億円となりました。

個人を中心とした皆さまの資産運用商品としてご好評をいただいております投資信託は、249億円を販売いたしました。基準価格の下落により期末の純資産残高は前年度末比39億円減少の1,158億円となりました。一方、個人年金保険は年間51億円、公共債も年間61億円の販売・募集をし、販売額は概ね順調に推移いたしました。



## 貸出金

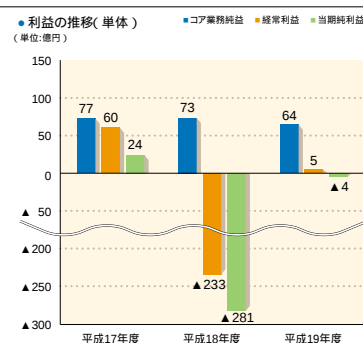
貸出金は、個人・中小企業の皆さまの資金需要にお応えするため、地域密着による営業を積極的に推進してまいりました。この結果、「アパートローン」が前年度末比85億円の増加、個人向け貸出の主力商品である「住宅ローン」が43億円増加いたしました。関連子会社である東和フェニックス株式会社へ貸出金243億円を分離したことや資産の健全化に向けた貸出金償却93億円などにより、期末残高は前年度末比281億円減少の1兆1,644億円となりました。



## 収益面

また、収益面については、効率的な資金運用を行うとともに、人件費、物件費等の抑制による経費の削減等、経営全般の合理化に努め、収益力の強化を図ってまいりました。

しかしながら、景気減速による企業業績の悪化の影響を受け不良債権処理が73億4百万円となり、固定資産減損損失10億35百万円や繰延税金資産取崩25億20百万円も加わり、経常利益5億76百万円、当期純損失は4億24百万円となりました。

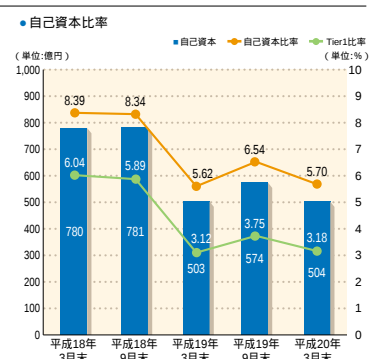


## 自己資本比率

平成20年3月末の自己資本比率は基本的項目が増加したこと、リスクアセットが減少したことから、前年度末(平成19年3月末)比0.08%上昇の5.70%となりました。

国内基準である4%は十分超えたものとなっておりますが、今後についても収益の増強と経営の合理化に加え、当事業年度に実施した資本増強策に引き続き、一層の健全化を図るべく更なる資本増強策の検討を行い、自己資本比率8%台を早期に実現してまいります。

Tier1比率とは自己資本のうちの基本的事項(Tier1)のみをリスクアセットで除した比率です。

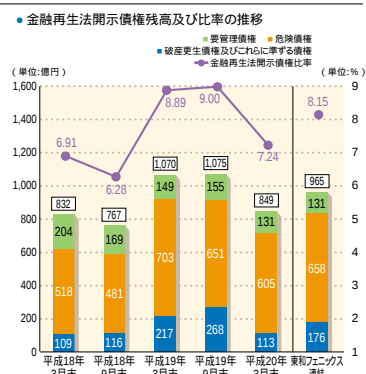


## 不良債権

金融再生法ベースの不良債権比率は7.24%と前年度末(平成19年3月末)比1.65%の低下となりました(東和フェニックス(株)連結8.15%)。

今年度以降も、お取引先の事業再生支援や健全支援の強化などの施策を着実に実施することにより、企業再生、信用格付のランクアップ等を図り、不良債権比率の低下に取り組んでまいります。

金融再生法開示債権比率は総与信に対する金融再生法開示債権の比率です。



## ■ 連結決算

## 主要な連結経営指標の推移

| 連結会計年度                      | 単位  | 平成15年度    | 平成16年度    | 平成17年度    | 平成18年度    | 平成19年度    |
|-----------------------------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 決算年月                        |     | 平成16年3月   | 平成17年3月   | 平成18年3月   | 平成19年3月   | 平成20年3月   |
| 連結経常収益                      | 百万円 | 47,961    | 46,272    | 45,945    | 43,305    | 45,865    |
| 連結経常利益<br>(は連結経常損失)         | 百万円 | 3,649     | 3,687     | 7,454     | 22,142    | 1,115     |
| 連結当期純利益<br>(は連結当期純損失)       | 百万円 | 2,475     | 2,329     | 2,710     | 27,415    | 158       |
| 連結純資産額                      | 百万円 | 57,837    | 63,117    | 63,163    | 33,372    | 36,368    |
| 連結総資産額                      | 百万円 | 1,740,159 | 1,791,379 | 1,786,372 | 1,744,309 | 1,713,599 |
| 1株当たり純資産額                   | 円   | 239.55    | 261.48    | 261.75    | 136.87    | 97.69     |
| 1株当たり当期純利益<br>(は1株当たり当期純損失) | 円   | 10.25     | 9.66      | 11.23     | 113.60    | 0.65      |
| 潜在株式調整後<br>1株当たり当期純利益       | 円   | -         | -         | -         | -         | 0.59      |
| 連結自己資本比率<br>(国内基準)          | %   | 6.51      | 8.48      | 8.32      | 5.71      | 6.67      |

- (注) 1. 当行及び国内連結子会社の消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。
2. 連結純資産額及び連結総資産額の算定にあたり、平成18年度から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準(企業会計基準第5号)」及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針(企業会計基準適用指針第8号)」を適用しております。
3. 「1株当たり純資産額」、「1株当たり当期純利益(又は当期純損失)」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益(以下、「1株当たり情報」という。))の算定に当たっては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準(企業会計基準第2号)」及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第4号)」を適用しております。1株当たり純資産額は、企業会計基準適用指針第4号が改正されたことに伴い、平成18年度から繰延ヘッジ損益を含めて算出してあります。
4. 連結自己資本比率は、平成18年度末から、銀行法第14条の2の規定に基づく平成18年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出してあります。当行は、国内基準を採用しております。なお、平成17年度以前は、銀行法第14条の2の規定に基づく平成5年大蔵省告示第55号に定められた算式に基づき算出してあります。
5. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、平成18年度以前については潜在株式がないので記載しておりません。

## 事業の種類別業績

事業の種類別業績については、銀行業務の経常利益は10億28百万円、リース業務の経常損失は27百万

円、その他業務の経常利益は1億15百万円となりました。

## キャッシュ・フロー

当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、預金の減少等により 346億8百万円となり、前期比625億43百万円減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出が有価証券の売却・償還による収入を上回ったこと等から 159億70百万円となり、前期比

246億55百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、株式の発行による収入等により164億26百万円となり、前期比171億24百万円増加しました。

これらの結果、当連結会計年度末の現金及び現金同等物の期末残高は前期比341億45百万円減少し、350億31百万円となりました。